

早稲田大学 グローバルエデュケーションセンター
教授／准教授／専任講師 または
教授（テニュアトラック）／准教授（テニュアトラック）
／講師（テニュアトラック）
アカデミック・ライティング 募集要項

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター（Global Education Center：略称 GEC）では、【アカデミック・ライティング】分野を担う任期なしの教員、または、テニュアトラック制度にもとづくテニュアトラック教員（※1）を募集します。

早稲田大学の GEC は、「Waseda Vision150（※2）」で掲げる真に国際的な視野から物を見ることができる人材を育成する教育の場として設置されました。GEC では「基盤教育」として、早稲田大学の学生が学問を学ぶために必須の、同時に社会に出てからも知的な職業につく限り必須となる学術的なスキルを習得する教育を全学の学生に提供しています。また、「基盤教育」科目のほか、物事の本質を見極める洞察力を育む「リベラルアーツ教育」、多様な外国語や異文化理解力を鍛える「語学教育」を通じ、世界中のさまざまな価値観を学ぶうる多種多様な全学オープン科目を提供しています。今回人事募集を行うアカデミック・ライティングは、上記の「基盤教育」の一分野です。

※1 GEC におけるテニュアトラック制度とは：

GEC のテニュアトラック制度とは、将来的に任期の定めのない専任教員になり得る人材を獲得するために、GEC が候補者をテニュアトラックの任期付き教員として採用します。採用後は、採用された教員が GEC の教育プログラムを推進・発展させていく役割について、責任を持って取り組む能力・資質をもち、その目的に向かって努力をしているかなどについて評価判断する審査を一定期間行った上で、任期の定めのない専任教員として採用する制度です。

任期の定めのない専任教員への任用は、テニュアトラック期間中の本人の教育・研究業績等を勘案の上、GEC の教育プログラムを担える人材かどうかを多面的・総合的に評価・審査し決定します。

※2 Waseda Vision150 について：

早稲田大学では、教育力、研究力の継続的向上と、これを支える財務体質の強化と組織の改革を進めるための中長期計画として Waseda Vision 150 を策定しました。“Waseda Vision 150”では、本学が創立 150 周年を迎える 2032 年に、①世界中から、世界に貢献する高い志をもった学生が早稲田に集い、②世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する研究が行われ、③早稲田大学の卒業生（校友）が、世界の至る所で、また、あらゆる分野で、グローバルリーダーとして社会を支え、かつ、早稲田大学と緊密な協力関係を築いており、そして、④早稲田大学がアジアのモデルとなりうる運営体制を確立しているという姿（ビジョン）を思い描き、そのビジョンの実現に向けて、いま何をなすべきであり、何をなすことができるかを考え、13 の核心戦略とそれを実現するための具体的なプロジェクト等を提示しています。

Waseda Vision150 ウェブサイト：<https://www.waseda.jp/inst/vision150/>

1. 募集内容	早稲田大学グローバルエデュケーションセンター アカデミック・ライティング教育部門 教授／准教授／専任講師 または 教授（テニュアトラック）／准教授（テニュアトラック）／講師（テニュアトラック）		
2. 募集人数	1 名		
3. 勤務形態	常勤（任期なしあるいはテニュアトラック）		
4. 採用日	2025 年 4 月 1 日		
5. 採用身分	教授／准教授／専任講師 または 教授（テニュアトラック）／准教授（テニュアトラック）／講師（テニュアトラック） ※採用時の受入職位は、教育・研究業績と選考過程での評価等によって決定する。		
6. 契約期間	<u>2025 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日</u> <u>（テニュアトラックでの採用の場合）※ 1、2</u> <u>2025 年 4 月 1 日～任期の定めなし</u> <u>（教授／准教授／専任講師での採用の場合）</u>		
	※ 1 当該期間満了後、教育・研究業績、ならびに勤務状況等を考慮の上、2 年以内の任期で契約を更新する場合がある。ただし、本雇用契約に関する任期付教員としての契約期間は、教授（テニュアトラック）の場合は通算して 5 年を、准教授（テニュアトラック）／講師（テニュアトラック）の場合は通算して 7 年を超えることができない。 ※ 2 資格に関わらず 2013 年 4 月 1 日以降に本学と雇用契約がある場合は、雇用期間や再任用の有無・期間について、上記任期のとおりとならない場合がある。		
7. 就業場所	早稲田大学 主に早稲田キャンパス ※早稲田大学キャンパス内は指定屋外喫煙場所を除き、全面禁煙です。		
8. 待遇	・ 勤務時間等	所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段および時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。	
	・ 給与	本学規程による。詳細は問い合わせること。	
	・ 研究費	本学規程による。	
	諸手当		
	通勤費		

・休日	土曜日、日曜日、年末年始、国民の祝日、国民の祝日の一部に授業を実施することにより設ける臨時の休業日および大学創立記念日とする。ただし、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。
・休暇	労働基準法等法令に定められた休暇および、大学が特に定めた日（年始、夏季一斉休業等）
・社会保険	厚生年金・健康保険・労災保険・雇用保険

9. 担当業務 (予定)

(1) 授業の担当

学部科目「学術的文章の作成」(オンデマンド) …7 週を年 3～4 回 (他の教員と協働で運営する)

大学院科目「学術的文章の作成とその指導」(対面) …14 週を年 1、2 回
ライティング周辺科目 (リテラシー関連科目) (対面)

その他必要とされる科目の企画・実施など

(2) ライティング授業に関わる運営業務

「学術的文章の作成」授業の運営に関わる業務 (指導を行う院生の育成・監督、助手・助教の育成・監督、学部との折衝、学内広報、事務所との連携)、「学術的文章の作成とその指導」授業に関わる業務 (院生の育成・採用、助手・助教の育成・監督、研究科との折衝、学内広報)、その他必要とされる業務

(3) ライティング支援に関わる運営業務

ライティング・センターの運営全般 (助手・助教の監督、チューターの採用・研修・監督、学内ワークショップの開催、予約システムの監督、受付の監督、分室の運営、パンフレット作成、広報、他箇所との連携活動、高校等附属機関での授業)、その他必要とされる業務

(4) 学内会議の出席

グローバルエデュケーションセンターの運営に関わる会議、アカデミック・ライティング教育部門委員会への出席など

(5) 学外向けの業務

学外 (学内) 開放のフォーラム企画・実施、他大学からの見学者受け入れ、他大学への研修出張・監督など

(6) ライティング教育に関する研究

基盤教育成果調査、カリキュラム・教材開発のための分析、出版物の作成・編集など

(7) その他、グローバルエデュケーションセンターが必要と認める諸業務

※「早稲田大学グローバルエデュケーションセンター、アカデミック・ライティング教育部門」の詳細は、以下を参照のこと。

<https://www.waseda.jp/inst/aw/>

10. 応募資格

着任時に他で本務をもたない者、かつ以下の条件に該当していること。

- (1) 博士の学位（専門職を除く）を取得または取得の見込みである、またはこれと同等以上の学識を有している。
- (2) 大学等の高等教育機関における教育歴、並びにカリキュラム開発の経験を有していることが望ましい。
- (3) 日本語アカデミック・ライティング授業を学部・大学院双方で担当した経験があることが望ましい。
- (4) アカデミック・ライティング支援とその運営に携わった経験があることが望ましい。
- (5) アカデミック・ライティング指導とアカデミック・ライティング支援、双方の領域において教育業績・研究業績があることが望ましい。
- (6) 日本語で講義ができ、かつその他の業務を日本語と英語で行うことができる。

11. 希望する人材

本学における教育に係わる事項に熱意をもって取り組むことができ、以下のすべてに該当していること。

- (1) 早稲田大学の理念、目的、社会における使命およびグローバルエデュケーションセンターが展開している教育プログラムを推進・発展させる役割について深く自覚し、自らの教育研究および大学やグローバルエデュケーションセンターの運営等に対して、責任を持って誠実かつ果敢に取り組むことができる者。
 - (2) 対象となる教育部門座長をはじめとしたグローバルエデュケーションセンターの教育プログラム関係者と協力し、チームの一員として、教育活動に従事することができる者。
 - (3) 多様な背景を持つ学生、カリキュラム TA、自学自修 LA、助手・助教、事務職員、教員等に対して敬意を払い、平和的、友好的、協力的にコミュニケーションを取ることができる者。
 - (4) グローバルエデュケーションセンターは、教育重視の組織であるため、組織マネジメント力や教育効果の判定を行うとともに、教育活動を支える研究を行うことができる者。
 - (5) 本学の基盤教育に係わる事項に熱意をもって取り組むことができ、以下の条件すべてに該当していること。
 - ① 教育研究に係わる事項、大学のアカデミック・プログラムに係わる事項に熱意をもって取り組むことができる者。
 - ② 「9. 担当業務」に記載の業務ができる者。
-

12. 応募方法

応募書類を以下の申請フォームより提出する。

すべての応募書類を応募締切までに提出することで応募が完了する。

【応募書類】

- (1) 履歴書 (所定書式)
- (2) 教育研究業績 (所定書式)
- (3) 主要な業績またはそれらの別刷もしくはコピー 3点以内
- (4) 最終学歴の学位取得証明書 (コピー可)
※博士学位取得見込みの者は、学位取得見込み証明書
- (5) 学部、修士課程および博士後期課程の成績証明書
- (6) 志望理由および研究計画 (所定書式)
- (7) 推薦状 2通以上

【申請フォーム】

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=_SIQUxERq3AEKIRDlnq8BA

※ (7) についてのみ、申請フォームからではなく、Eメールもしくは郵送にて提出すること。詳細は、15. 推薦状提出先を参照のこと。

※推薦状には推薦者への連絡が可能な電話番号と E メールアドレスを記載する。また、E メールでの推薦状送付の場合は、推薦者が所属する大学等の組織の公式アドレスからの送付のみ受け付ける。

※ (1) ~ (6) のうち、(1) (2) (6) については所定書式を用い、その他は任意書式にて応募書類を作成の上、電子ファイルで提出すること。

※ (4)、(5) は、日本語または英語で作成されているものが望ましい。

※申請フォームにて複数回申請を行った場合は、原則として最後に申請されたものを受け付けする。

※応募書類の形式上、申請フォームでの提出もしくはメール添付にて送付できない場合は「16. 問合せ先」まで連絡のこと。場合によっては郵送での提出を認める。

※応募書類に虚偽があった場合、採用を取り消しとする可能性がある。

13. 応募締切

2024 年 12 月 3 日 (火) 17:00

※郵送の場合は 2024 年 12 月 3 日 (火) 必着とする。

※期限後の提出・応募は、理由に関わらず認めない。

14. 選考

書類選考の上、面接を行う (交通費、宿泊費等の経費は全て応募者で負担のこと)。

- (1) 第一次選考 (書類選考)

選考結果は、**2024 年 12 月下旬**までに本人宛へ通知する。

- (2) 第二次選考 (面接試験)
-

2025 年 1 月下旬までに対面（早稲田キャンパス）にて実施予定。

15. 推薦状提出先 推薦者本人より、以下いずれかの方法にて提出すること。

※推薦状以外は、

12. 応募方法に記 【郵送の場合】

載のとおり、原則 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

申請フォームで提 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター事務所

出すること ※簡易書留郵便や宅配便等、追跡可能な手段で送付することとし、封筒に「アカデミック・ライティング分野 推薦状」と朱記する。

【E メールの場合】

以下のアドレス宛に提出すること。

gec-apply@list.waseda.jp（早稲田大学グローバルエデュケーションセンター教員人事担当）

※推薦者が所属する大学等の組織の公式アドレスからの送付のみ受け付ける。

※郵送・E メールともに 13. 応募締切までに提出のこと。

※グローバルエデュケーションセンター事務所への直接持参は、理由に関わらず認めない。

16. 問合せ先 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター 教員人事担当宛

TEL : 03-3204-9196

FAX : 03-6380-2859

E-mail : gec-apply@list.waseda.jp

早稲田大学グローバルエデュケーションセンター

URL : <https://www.waseda.jp/inst/gec/>

早稲田大学は、ダイバーシティ&インクルージョンの実現を推進しています。教員採用・昇進の人事審査において、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。